HUKUOKA	CAN-DO	GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6	入学時 1年	支期 2年前期 2年	後期 3年前期 卒業時
	Ingromptu	・身近な話題や教科書で学習したことに関連した話題について、1分間に20ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・身近な話題や教科書で学習したことに関連した話題について、1分間に35ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・教科書で学習したことに関連したことや与えられた 話題について、1分間に45ワード程度の英語を即興 で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に60ワード程度 の英語を即興で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に70ワード程度 の英語を即興で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に80ワード以上 の英語を即興で話すことができる。			
1 発	Speech (即興スピーチ) Fluency(流ちょう さ)	 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、自分の言葉で発表することができる。 (目安:60秒スピーチ) 	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、情報や考えをまとめ、自分の言葉で発表することができる。(目安:60秒スピーチ)		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表するともに、発表されたものを聞いて、即興で質問したり意見を述べたりすることができる。(目安90秒スピーチ)	る。 (目安:120秒スピーチ)	- 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。 (目安: 120秒スピーチ)			
2 9	Prepared Speech (スピーチ)	(CEFR-J: A1. 2)	ిం. (CEFR−J: A1. 3)		・一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画 を、理由を挙げて短く述べることができる。(CEFR-J: A2. 2)					
		・前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。(CEFR-J: A1. 2)	関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限ら	・前もって発話することを用意した上で、興味あるトピックについて、簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で、描写できる。	・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。(CEFR-J: CEFR-J: B1. 1)	・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。(CEFR-J: CEFR-J: B1. 1)	・ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について、語ることができる。			
3 発	Presentation (ブレゼンテーショ ン)	話題に関して、メモや原稿を見ながらであれば、何とか説明することができる。	- 絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている 話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわ かりやすく説明できる。	(CEFR-J: A2. 1)	- 写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、 - 連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生 活に直接関連のあるトピッグ(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。(CEFR-J: A2. 2)	あげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆 の前で行うことができ、一連の質問にも対応ができ る。	程度流暢に対応ができる。(CEFR-J: B2. 1)			
4 発	Story Retelling (ストーリーリテリ ング)			教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま 使うことが多いが、コンセプトマップやフローチャート を見ながら、まとまった英文を話すことができる。	・教科書の内容について、本文を始きだしてそのまま使うことが多いが、接続語句をうまく使って話の展開をわかりやすく言い換えることができる。	きる。	見や創作を加えることができる。			
5 発	Oral Summary (ロ頭での要約)		・授業で学んだ内容について、その概要や要点を相手に簡潔に説明できる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま 使うことが多いが、キーワードを元に作成したコンセ ブトマップを見ながら比較的短いサマリー発表をする ことができる。さらに、簡単なコメントを付け加えるこ とができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま 使うことが多いが、主題文や指示文をつないでサマ リーを発表することができる。さらに、簡単なコメント を付け加えることができる。	教科書の内容について、本文を抜き出して使う部分が少なななり、さらに簡単なコメントを付け加えたサマリー発表をすることができる。	・短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の 流輸をもって、自分の感想や考えを加えながら、あ らすじや要点を順序だてて伝えることができる。 (CEFR-J: B1. 2)			
Speaking			教科書の内容について、キーワードを使って口頭で 英文を発表することができる。				・教科書の内容について、自分の表現を多く使いながらサマリーを作り、さらにその内容に関し、コメントを付け加えて、自分の意見を述べることができる。			
6 .	Skit/Role Play (スキット/ロー ルプレイ)	 ・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールプレイ)を、台本を読んでしまいがちで、つっかえながらではあるが、なんとかできる。 	・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールブレイ)を、合本を見ながらであれば、なんとか相手の顔を見てつっかえずにできる。	・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールブレイ)を、台本に頼らずに自然にできる。練習したスキットであれば、原稿を見ないで自然な会話ができる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの金額にロールブレイ)を、それまで学習してきた表現を交えて、合本に頼らずに自然にできる。学習した表現を応用して、ストーリー性のあるスキットプレゼンテーションを行うことができる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの会話(ロールブレイ)を、それまで学習してきた表現を交えながらほぼ即興でできる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの会話(ロールブレイ)を、それまで学習してきた表現を交えながら即興でできる。			
7 *	Discussion (ディスカッション)	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、話題に沿った発言をすることができる。	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、話し合いに参加でき、なんとか意見のやり取りをすることができる。	・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するための意見を述べることができる。	・ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。(CEFR-J: B2.1)	・ある程度なじみのあるトビックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。(CEFR-J: B2. 1)			
	Topic/Function	ことができる。(CEFR-J: AT. 2)			・簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、ものや人を較べたりすることができる。(CEFR-J: A2. 2)		直を受けることかできる。(CEFR-J: BT. 2)			
8 -	(会話の題材-E) (会話の題材-E	とができる。(動物、食べ物、スポーツなど)	・日常生活の身近な状況を説明することができる。 (遅刻や欠席の理由など)・自分の得来の夢や希望について、話すことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)	・自分の学校について、簡単な紹介をすることができる。(場所、人数、特徴など)		- 時事的な話題に関して、準備した上で賛成・反対の 意見を述べることができる。	て、それについて質問したり自分の考えを述べたり することができる。			
		・自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。			・日本の国内ニュー人で取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語ですることができる。	・日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。				
	やりとり (Interaction)	- 基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができるかできないかや色についてのやりとりなど) において単純に応答することができる。(A1. 2)	- 基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘 いを受けたり、断ったりすることができる。(CEFR-J: A1.3)	・補助となる絵やものなどを用いて、基本的な情報を 伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。 (OEFR-J: A2. 1)	・予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)なら ば、さまざまな話や表現を用いてやり取りができる。 (CEFR-J: A2. 2)	- 個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。(OEFR-J: B1. 1)	- 駅や店などの一般的な場所で、間違った切符の購入人などといったサービスに関する誤りなどの問題を 目傷を持って難しく説明するとができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。(CEFR-J: B1. 2)			
9 7-		・級友に対して、決まった表現で謝意や同意を言い 表すことができる。 ・会話中、相手に繰り返しを求めることができる。	・相手の考えや表現の良いところを、口頭でほめることができる。 ・自分と相手の意見の共通点・相違点を、順序立て て、述べることができる。	・授業中に理解できないことが生じたときに、丁寧に 質問することができる。 ・ペア・ワークやクラス全体への発表などで、場面に 応じた適切な声の大きさで発話できる。	・意見が異なる相手に対して、同意できない旨を丁寧 に伝えることができる。 ・多少時間がかかっても、やりとりを終えるまで、相づ ちを打ちながら、相手の言うことを聞くことができる。	・相手が理解しやすいように、口頭でわかりやすく丁 寧に指示を与えることができる。また、誤解が生じた 時に、訂正することができる。	・相手の話す内容を簡単な言葉で言い換えて、相手に確認することができる。 ・文字や音声で与えられた内容について、自分の理 解度を、丁寧に相手に確認することができる。			
10	発音	・たびたび母語の影響を受けた発音になるが、個々 の単語ははっきりと発音することができる。	・母語の影響を受けた発音が見られるが、個々の単語をはっきりと発音することができる。	たび見られるが、概ね明確な発音で話すことができる。	見られるが、明確な発音で話すことができる。	・発話の流れの中でイントネーション、リズムを適切に使い分けることができる。全体的に安定した英語らしい音調で話すことができる。				
HUKUOKA CAN-DO		CRADE 3 GRADE 3			CEFR-J (March 10, 2012公開版) より	Benesse版 GTEC CAN-DO GRADEより	岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより			
		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6		感想·目標	38
入学時										
年 1年	後期									
2年前期										
の 連 成										
3年前期										
卒	業時									